



▲市民課窓口で住民の申請手続きを視察する河野大臣（中央左）と尾崎政務官（左）の様子

『書かない窓口』

『書かない窓口』とは、証明書の申請や引越しの届け出などの手続きをデジタル化し、職員がシステムを使って必要事項を来庁者と確認しながら申請書や届出書の作成支援を行うものです。来庁者は、申請書を記入することなく、印刷された申請内容を確認して署名するだけで手続きができ、手続き漏れも防止されます。

2月16日・市役所本庁舎

『書かない窓口』を河野デジタル大臣が視察！

市が窓口改革として取り組む『書かない窓口』について、河野デジタル大臣および尾崎デジタル大臣政務官が視察に訪れました。今回の視察では、深谷のICT関連の取り組みや窓口での流れについて市役所職員から説明を行い、窓口で住民が申請手続きを行う様子を実際に見学しました。



▲6年生が見守るなか、実行委員やPTAなどの手によりタイムカプセルの埋設作業が行われました

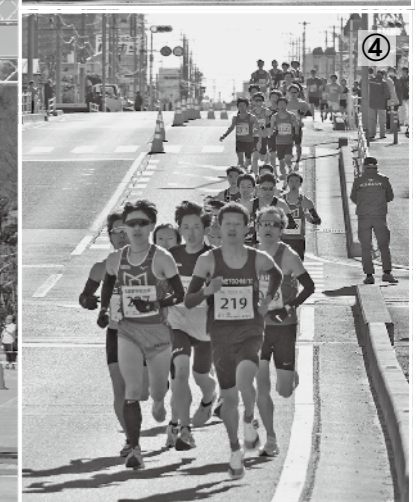


▲タイムカプセルには、寄せ書きや地酒、学校だよりなどが入れられました。
◀タイムカプセルの詰め込みを行う実行委員の様子。25年後は、この実行委員を中心に連絡調整を行い掘り起こす計画です。

3月17日・深谷小学校

未来への夢を詰め込んだ記念タイムカプセル

深谷小学校では、開校175年を迎える2048年に向けて、6年生児童の未来の自分にに向けた手紙や、開封時の乾杯用の地酒などを詰め込んだ記念タイムカプセルを校内に埋設しました。子どもたちは、25年後に行われる開封を楽しみに作業に取り組みました。



左上から時計回りに（写真①）スタート地点から勢いよく走り出すランナーの様子（写真②）各部門ごとに設置された選手受付（写真③）コース沿道では、各種団体などによりランナーを励ます演奏などが行われました（写真④）コースを駆け抜けるランナーたち（写真⑤）走り切ったランナーが次々とゴールする様子



3月4日・ふかや緑の王国

100種類を超える梅の競演『梅まつり』

第15回ふかや緑の王国『梅まつり』が開催され、会場では、園内に咲き誇る100種類を超える梅の花々がじっくりと観賞して楽しむ人々の姿が見られました。



3月18日・深谷テラスパーク

歩いて学ぶ！『渋沢栄一巨人生ゲーム』

栄一翁の生涯について、参加者が『人生ゲーム』のコマになって歩いて学ぶイベントが開催され、来場者は巨大な人生ゲームを楽しみながら栄一翁への理解を深めました。



▲参加ランナーには、深谷の郷土料理『煮ぼうとう』が振る舞われました



▲会場では物販なども行われ多くの人でにぎわいました

2月26日・仙元山陸上競技場

4年ぶりに開催！～渋沢栄一のふるさとを走る！～ 『ふかやシティハーフマラソン』

深谷の冬の一大イベントである、『ふかやシティハーフマラソン』が4年ぶりに開催されました。当日は、この時期特有の強い風が吹く状況だったにもかかわらず、コース沿道から地域のかたをはじめ多くの人々が、次々と走り抜けていくランナー達に温かい声援を送りました。

また、会場では参加ランナーに深谷の郷土料理『煮ぼうとう』が振る舞われたり、農産物や飲食物をはじめとした物販なども行われ、市内外から集まった参加ランナーが深谷ならではの大会を楽しむ姿が見られました。